

(別紙4(2))

事業所名 グループホームチアフル 笑明かり

目標達成計画

作成日: 平成 27年 2月 1日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

| 【目標達成計画】 | | | | | |
|----------|------|--------------------------|----------------------|--|------------|
| 優先順位 | 項目番号 | 現状における問題点、課題 | 目標 | 目標達成に向けた具体的な取り組み内容 | 目標達成に要する期間 |
| 1 | | 利用者の意欲、力が発揮出来る機会を奪っていないか | 1人1人の把握。又、発揮出来る様にする。 | ①利用者主体である事を理解し、何事も共に行いその人の力を把握する。 ②出来ないと決めつけない。何でも挑戦する。失敗してもいい。変化を恐れない。 ③待つ。見守る力を付ける ④職員間で1人1人の出来る事を、出来ない事、やりたい事等を共有する(ミーティング、申し送り、連絡帳等) ⑤時間にとらわれない。1人1人のペースに合わせる。その人らしく。 ⑥自分で出来たという、達成感を持っていただけるようにする。 ⑦生活の場にお邪魔させて頂いているという意識を持つ ⑧1人1人の想いしる。ゆっくりと話す ⑨業務ではなくご利用者との時間を優先する ⑩自立支援の考え方を統一 | 12ヶ月 |
| 2 | | | 気軽に外出をする | ①無理に全員で出かけようと思わない ②身軽に出掛ける。近場、散歩でもいい ③個々の馴染みの店等に行き、関係が途切れないように支援 ④外出する方が偏らないように注意 | 12ヶ月 |

| | | | | | |
|---|--|---------------------------------|----------------------|--|------|
| 3 | | 内部・外部研修を行っているが、勉強したことを実践できていない。 | 知識・技術の向上を図り自分のものに出来る | ①研修時分からない事がないようにする ②苦手な分野も自分に必要である為挑戦をする ③外部研修に1年に1度は行く ④研修後、振り返り内容を確認する ⑤研修後、内容や試したい事を職員に報告し情報共有する(ミーティング、申し送り等) ⑥何事も挑戦。変わる事を恐れない ⑦実践し、自分を振り返り職員間で報告、情報を共有する ⑧個々に知識を深める。目標を作成。 | 12ヶ月 |
| 4 | | 同じような事故が多い | 事故再発防止の徹底。 | ①事故内容の共有と把握 ②常にスタッフが事故しない意識を持つ ③1人は必ずフロアで見守りが出来る環境作りと、視野の広さを持つ ④同じ事故が起これないよう改善策を徹底する | 12ヶ月 |
| 5 | | | | | ヶ月 |

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。